

学校内全面禁煙訴え

保護者3団体 県教育長に要望書

県公立高PTA連絡協議会、県PTA連絡協議会、県私学父母の会は十日、「子供の健康と安全の保障を」と、県教委に学校敷地内全面禁煙化の早期実現を要望した。三団体の代表が県庁で、「学校をノースモーキングエリアに」と題した共同アピールを鈴木善彦教育長に提出した。

共同アピールは、四月 ち一人一人は、学校の禁煙の健康増進法が学校 煙化について自らのこと 管理者に受動喫煙防止措 としてとらえ、児童・生 置を求めていることなど 徒に対する範として率先 に触れ、「先生方や私た して取り組むことが望ま

れる」とした。

その上で、各校に教員 はじめ学校評議員や保護 者・地域住民を交えて協 議するなど、ノースモー キングエリアにするため の積極的な検討を要望し ている。

公立高PTA連絡協議 会の西原茂樹会長は鈴木 教育長に「子供を含めた みんなが喫煙問題につい て考えるよう、議論を促 してほしい」と求め、鈴 木教育長は「子供の健康 を守るということを最重 点に取り組む」と述べた。 県教委は十三日に、教 育、医療関係者、保護者、 有識者ら十四人による 「学校における喫煙問題 検討委員会」を発足させ、 児童生徒の受動喫煙防止 や禁煙教育の推進につい



鈴木教育長に学校禁煙化の要望書を手渡す須藤京子県PTA連絡協議会長（県庁）

て考えていく。